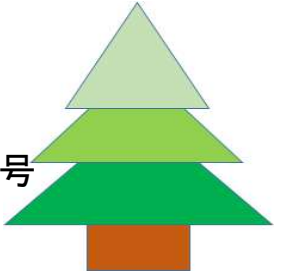




# 嵯峨宮頼り

第39号



嵯峨宮：群馬県みどり市大間々町小平 348 番地

<http://www17.plala.or.jp/sagagu/>

発行日：2025 年 1 月 10 日

発行：嵯峨宮世話人会

新年おめでとございます

令和七(2025)年はどんな年なのか？ 占いは信じないまでも気にはなるのでネットで調べてみた。干支は乙巳(きのとみ)、「乙」は字の形からしなやかな草木、紆余曲折しながら進む、「巳」は蛇を象徴し脱皮し成長する、乙巳年は外部の抵抗が強くもそれに屈せず、柔軟性と生命力をもって、在来の因習的生活にケリを付け、雄々しくやっついていくという。蛇につき金運も好いようだ。挑戦することで、進化と成長のチャンスが広がる年として期待できるようだ。

新年の経済ニュースで日本人一人当たりのGDPが世界で二十二位、OECD(経済協力開発機構)38ヶ国中で、韓国二十一位を下回った。来年は台湾にも追い越されるだろうという。要因は断突の非就労高齢

者率の増加と円安という。計算はドルベースだからコロナ前の1ドル110円台が今は150円台だ。円安の原因は企業競争力が落ちていくからという。その一つが非効率な事務作業で、デジタル化・AI化が遅れネット会議やペーパーレス化が進んでないという。日本では年功序列の風土から企業も社会も意思決定には年長者の比率が高く、実態のないバーチャルなソフト中心のデジタル化には疎くなりがちだ。概30年前のバブル崩壊後若者達が就職氷河期と言われる時代に苦勞させられた。そしてコロナ後は高齢者が「デジタル氷河期」の時代に苦勞したとならぬようにしたいものである。

初午(はつうま) 二月六日



旗販売：足利屋(東町花輪)

とは言え記録紙がなくなることはない。和紙は千年を超え保存できる安価な媒体で、読む者に特別なツールを必要としない。一方デジタル機器は大量の情報情報を瞬時に処理し送れる反面、ツールや電気がなければ見ることすらできず、災害時インフラが被害を受けると役立たずとなることもある。又千年を超える安価なデジタル情報記録媒体は今だ開発されていない。しかし新聞やチラシなどその日限りの印刷物や回覧等は今後急速にデジタル化していくことは間違いない。

嵯峨宮頼りも今は印刷が圧倒的に多く、メール配信は10%程である。しかし印刷や配達の経費・手間・伝達時間・情報量を考えると方向は明らかである。世の中に遅れないよう読者の要望する配信方法で地域情報をお届けしようと思っている。



埋蔵祈願も少しは知られ興味を持つ人も増えた。今回若い青年が千葉県から訪問してくれたのは大変嬉しい事だった。

令和六年度埋蔵祈願式  
十二月十五日実施



前橋の小林美穂さんか  
ら今年も一頂頂いた。嵯峨  
宮頼りでは谷山城をシンポ  
ルとした平和をテーマの取組

も目指し  
てきた。世  
界各地で  
起きてい

良き年を  
願うと込めて  
嵯峨宮へ  
ぞり平和を  
一九とふり  
令和六年十二月十五日

## 故事にちなみ、集落繁栄を



「えいえいおう」と掛け声を上げ願いをささげた氏子ら（みどり市大間々町小平の嵯峨宮の裏山で）

### 小平・嵯峨宮で埋蔵祈願式

氏子ら武者姿で「えいえいおう」

みどりの市大間々町小平の神社（嵯峨宮）が「えいえいおう」で15日、約700年前の開村当時をしので武者行列を行き、願いをしたためた書を地中に埋めて祈る恒例行事「埋蔵祈願式」が行われた。山田郡誌などによる

時代末期の嘉暦（1326）26（29年）年間とされ、都から下った武士7人が集落繁栄の祈願書を埋蔵、その上に同神社を建立したことが始まりとされている。それに倣った埋蔵祈願式は、氏子でつくる嵯峨宮世話人会（阿久津直司総代）が2018年から毎年この時期に行い、今年で6回目。武者行列を行ったのは先導役の山伏や、なぎなたを持った鎧兜（よろい）姿の武者、直垂（ひたれ姿）の武者などに扮した氏子代表の7人。冬日和となったこの日、武者行列は参拝者

2024年(令和6年)12月21日  
桐生タイムス

る戦争は決して他山の石ではない。平和祈念が織り込まれたこの歌は嬉しい一首である。戦争と平和は洋の東西、古今、規模の大小を問わず永遠のテーマである。日本が平和の今こそ考える時、埋蔵祈願と頼りを利用していききたい。

#### 獣害

被害に合わなきや分らない

新米の藁を選びすぐつて撚り、半紙とゆずり葉二枚、中心に蜜柑を付けて正月の注連縄（しめなむ）を作る。これを三十日に嵯峨宮と自宅の玄関に飾った。元日初詣で見上げると、無い、蜜柑がない。一昨年は自宅の玄関も盗られた。犯人は猿である。埋蔵祈願式の前に階段に嵯峨菊の鉢を置いて観てもらった。嵯峨菊は花びらが細く長いのが特徴である。嵯峨天皇がその気品ある姿と香りを好

んだためこの名が付いたとか。が二、三日でその長い花びらだけが喰われ、野菊のようになってしまった。猿が喰ったのだ。

干し柿を作るため蜂屋柿を二十個買って来た。皮剥きして玄関に干し、取れないように注意していた。そろそろ甘くなってきた頃、前の畑で二十分位作業していたら何やら変な音がする。慌てて戻ると大きな猿が七疋、両手に干し柿を持って座って喰っている。コラー！と大声を揚げたら更に残った柿を両手に取り、脱兎のごとく逃げる。後にはかじり喰い散らかした干柿の残骸と放ったばかりの糞が一ヤマ残っていた。この話をした処、ウチはネットで困っていたのに喰われた、と言う。悪賢さは人間並みだ。

秋田県では今年熊が大発生、スーパーに籠る、人を襲う等十一月末迄で人身被害が八十一人に上ったという。スーパーの熊を駆除した処秋田県庁には全国からかわいそうとの苦情電話が56件もあり、しつこく、業務に支障を来たした。佐竹知事が「お付き合いする必要なし」「お前の処に送るから住所を送れ」と言われたら切ったそうだ。

熊による杉の剥皮被害は当みどり市の東町や小平で甚大だが駆除枠があり毎年役所とすったもんだしている。役所も動物愛護団体や自然保護を唱える教育者の顔色を見てお茶を濁す。入鉄砲と出女で厳しい取締りをした江戸幕府でさえ野生動物が畑を荒らす時は領主が四季打鉄砲と称し鉄砲を百姓に貸出したと古文書にある。そこに住む者が被害を与える動物を駆除するだけなら生態系に何ら影響はない。都会の者が趣味で狩猟したり、山林開発したり、廃棄物投棄することが生態系を壊すのだ。（阿直）